広報にいつ
発行所　新津市役所
電話代 56番
発行人　藍田 繁雄
印刷所　東洋舘印刷所
毎月一回5日発行
（定価一部2円）

人口動態（7月31日現在）

世帯数	9,901		
人口	5,3194人		
7月中			
出生	29	死亡	15
転入	137	転出	60
婚姻	11	離婚	2

合併後 初の夏まつり

呼びものは近郷民踊の市内流し

協議会結成で全市に盛上る

恒例の新津夏まつりは八月一日の前夜祭で開幕、二十一日間にわたって別項プログにおりけんらんと繰りひろげられるが、今年からは金津・小合の合併で市域も拡大されたのに伴ともも新市域をふくめて全市的に行うこと、その運営も各関係者が打合せの結果、市を中心に各団体を網羅した一新津夏まつり協議会」を組織、会長に藍田市長を推し以下次の各役員を決定、万全を期することになった。

○新津夏まつり協議会
会長　藍田市長、同会長　鉱織紡工会議所会頭　桂樹光協会長　鹿間　高岡代議士、志賀県会議員、石崎市議会議長、宮本議長、高橋地方事務所長　石川商工常任委員長、宮伝部長、本間商店街連合会長、行事部長　長谷川助役　事務局　商工会議所内総務部長　石川商工常務　渡、亀田方面、五泉、村松方面、小須戸、白根方面へ宣伝カー出動　七日から櫛出神社で毎夜盆踊りをはじめるが、七日の晨には近郷民踊および市内流しで、これには地元新津松原の外、亀田・加茂・五泉・白根が参加、特に後援ふるいて相川音頭、佐渡おけさなども披露、市内数カ所の外市ノ瀬、結・満日、草水、金津、小合をバスで巡回、十日の仮装コンクールとともに夏まつり中の呼びものと予想されている。また十四日から十六日の毎夜の松抜市内流しは、三ノ町に盛放を招待する。十六日には文化団体協議会が律人有田神社、十九日から二十一日夜の松抜郷、作家石塚友二両氏を招いての風下律俳句大会

夏まつりプログ

今回の夏まつりは八月一日、関係者の櫛出神社参拝による前夜祭が終る七日から櫛出神社で毎夜キャラバン隊をもって新津、亀田方面、五泉、村松方面、小須戸、白根方面へ宣伝カー出動、十日の仮装コンクールとともに夏まつり中の呼びものと予想される。

10日　市内仮装コンクール（夜）
10日　朝日踊音手目踊
14日から16日まで　松抜
市内流し（夜）
16日　県下律句大会（公会堂）
19日から21日まで　櫛出神社大祭

国庫補助で5%減

国保料増徴24%止り

昭和三十年度の国保料は二十九年度の約二倍、九%を増徴することに市民負担の過重になり、これに市議会で議決されてたが、危ぶまれていた国庫補助金の減額が、これを配布した。

すなわち、市村合併による都合上四、六月分の三ヵ月分は二十九年度の基準で徴収し、七月以降明年三月分は三十年度の賦課基準で徴収することになっている。大体二十九年度の二九%増と見込れていたが、危ぶまれていた国庫補助金が百三万千円程度宋に交付されたので保険料の増徴は出来るだけ建前から言う当初の建前から当初予算より交付金の額を減じ、一人平均の金額を減じ、一人平均で徴収し、七月以降は三十年度の賦課基準で徴収することになっている。大体二十九年度の二九%増と見なしていた。

昭和二十九年度の国民健康保険の受診件数及び給付額が過去五ヶ年に比して非常な激増を示している。

下の表は昭和二十四年以降の受診件数と給付額の推移を表わしたものであるが、これを昭和二十四年度の実績と対比すると、件数では約四、五倍、額では約六倍、給付額は約四、五倍と膨脹している。

この結果からみる保険料はその側合に増加せず徴収率は一、五倍足らずにしかなっていない。

給付費の増えた直接の原因は給付面がひろがったことで、すなわち病料健康保険の給付内容、ストマイの給付や県の結核患者の公費負担等打切りによるこれらの別枠り給付、その他一般新下級の引上げ、特に二十八年度の国庫補助の国庫補助には医師の協力で それ開始した国保診療の国保診療が促進され、現在の経済状態がどうしても国保を使わねばならぬところにまできている。

ことなく、今後もデフレ経済の波は益々社会保障率然をかめることになると見られる。

又保険料についても昭和二十九年度の国民健康保険の給付費が過去五ヶ年に比して非常な激増を示している。

下の表は昭和二十四年以降の受診件数と給付額の推移を表わしたものであるが、これを昭和二十四年度の実績と対比すると、件数では約四、五倍、額では約六倍、給付額は約四、五倍と膨脹している。

この結果からみる保険料はその側合に増加せず徴収率は一、五倍足らずにしかなっていない。

給付費の増えた直接の原因は給付面がひろがったことで、すなわち病料健康保険の給付内容、ストマイの給付や県の結核患者の公費負担等打切りによるこれらの別枠り給付、その他一般新下級の引上げ、特に二十八年度の国庫補助の国庫補助には医師の協力で それ開始した国保診療の国保診療が促進され、現在の経済状態がどうしても国保を使わねばならぬところにまできている。

ことなく、今後もデフレ経済の波は益々社会保障率然をかめることになると見られる。

又保険料についても昭和三十年度の国保料は二十九年度の約二倍、九%を増徴することに市民負担の過重になり、これに市議会で議決されてたが、危ぶまれていた国庫補助金の減額が、これを配布した。

すなわち、市村合併による都合上四、六月分の三ヵ月分は二十九年度の基準で徴収し、七月以降明年三月分は三十年度の賦課基準で徴収することになっている。大体二十九年度の二九%増と見

県の権限強化

中小企業協組法改正さる

昭和二十九年度の国民健康保険の受診件数及び給付額が過去五ヶ年に比して非常な激増を示している。

下の表は昭和二十四年以降の受診件数と給付額の推移を表わしたものであるが、これを昭和二十四年度の実績と対比すると、件数では約四、五倍、額では約六倍、給付額は約四、五倍と膨脹している。

この結果からみる保険料はその側合に増加せず徴収率は一、五倍足らずにしかなっていない。

給付費の増えた直接の原因は給付面がひろがったことで、すなわち病料健康保険の給付内容、ストマイの給付や県の結核患者の公費負担等打切りによるこれらの別枠り給付、その他一般新下級の引上げ、特に二十八年度の国庫補助の国庫補助には医師の協力で それ開始した国保診療の国保診療が促進され、現在の経済状態がどうしても国保を使わねばならぬところにまできている。

ことなく、今後もデフレ経済の波は益々社会保障率然をかめることになると見られる。

又保険料についても昭和三十年度の国保料は二十九年度の約二倍、九%を増徴することに市民負担の過重になり、これに市議会で議決されてたが、危ぶまれていた国庫補助金の減額が、これを配布した。

すなわち、市村合併による都合上四、六月分の三ヵ月分は二十九年度の基準で徴収し、七月以降明年三月分は三十年度の賦課基準で徴収することになっている。大体二十九年度の二九%増と見

国保給費六倍に

昭和二十九年度の国民健康保険の給付費が過去五ヶ年に比して非常な激増を示している。

下の表は昭和二十四年以降の受診件数と給付額の推移を表わしたものであるが、これを昭和二十四年度の実績と対比すると、件数では約四、五倍、額では約六倍、給付額は約四、五倍と膨脹している。

この結果からみる保険料はその側合に増加せず徴収率は一、五倍足らずにしかなっていない。

給付費の増えた直接の原因は給付面がひろがったことで、すなわち病料健康保険の給付内容、ストマイの給付や県の結核患者の公費負担等打切りによるこれらの別枠り給付、その他一般新下級の引上げ、特に二十八年度の国庫補助の国庫補助には医師の協力で それ開始した国保診療の国保診療が促進され、現在の経済状態がどうしても国保を使わねばならぬところにまできている。

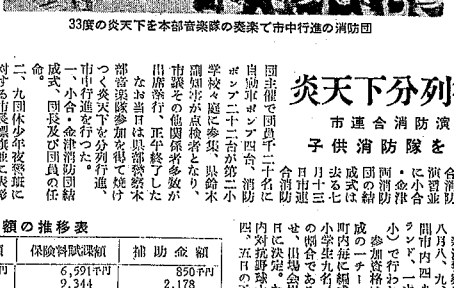
ことなく、今後もデフレ経済の波は益々社会保障率然をかめることになると見られる。

又保険料についても昭和三十年度の国保料は二十九年度の約二倍、九%を増徴することに市民負担の過重になり、これに市議会で議決されてたが、危ぶまれていた国庫補助金の減額が、これを配布した。

すなわち、市村合併による都合上四、六月分の三ヵ月分は二十九年度の基準で徴収し、七月以降明年三月分は三十年度の賦課基準で徴収することになっている。大体二十九年度の二九%増と見

税完納者に報奨物資を

昭和二十九年度は納税者の協力を得て九二%分ちのよい徴税成績をあげることができたが、未年一人例ケースについ納税完納者（昭和三十年五月三十一日現在）に対し賦課物資（完納手続）を世帯単位に贈ることになった賀期日八月中旬を予定。手拭のデザインは三本の清川流に発見し消防機関に置ちに通報並に消防に協力した者の表彰



33度の炎天下を本部音楽隊の奏楽で市中行進の消防団

炎天下分列行進

市連合消防演習

子供消防隊を表彰

団主催で団員千二千名に自動車ポンプ四台、消防ポンプ二十二台が第二小学校々庭に集合、県会議員、市議会の他関係者多数が出席参行、正午終了した。

なお当日は県警察本部音楽隊参加を得て焼けつく炎天下を分列行進、市中行進を行った。

・小合・金津消防団結成式、団長及び団員の任命。

二、九団体分年表警旋に対する市民親睦並に表彰状の伝達式（旧市内七団体・金津二団体・中・小学校より組織されている中体みなく表彰を行って市内